

# WAVE

vol.88  
2018.06  
TAKE FREE

誰もが自分らしく生きる社会を実現するために。



P2 第14期アイセル女性カレッジ  
「戦略的キャリア形成プロジェクト2」報告

修了式にて (2018.2.10)

## contents

P4 講座終了レポート

P5 interview ひとり親でも安心して暮らせる社会へ

P6 AICEL TOPICS

P7 これからの講座のご案内

毎年6月23日～29日は男女共同参画週間です。

今年の女性会館は「男性にとっての男女共同参画」にフォーカスし、講演会「介護する息子たち」や「男性のためのアサーティブ・トレーニング」を開催、料理男子のパネル展示も行います。



静岡市女性会館では、女性も男性も誰もが自分らしく幸せに生きることのできる社会を目指し、課題解決型事業に取り組んでいます。困難を抱えた女性をサポートする仕組みや居場所づくり、講座の実施に加え、地域のセーフティネットのひとつとして静岡市女性会館が機能することを目指しています。

編集・発行

静岡市女性会館

# 「戦略的キャリア形成プロジェクト2」報告

1995年にスタートした女性のための人材育成講座です。第14期（2017.7～2018.2）は、「女性」を対象に、女性が苦手意識を持ちがちな交渉やリーダーシップなど、職場で役立つ実践的なプログラムを企画。第一人者を講師に迎えた講義で知識やスキルを習得するだけでなく、毎回30分程度のグループ・プロジェクトに取り組み、最終回でその成果を発表しました。

プロジェクトでは、受講動機をもとに関心のあるテーマを選び、2～4人のグループを編成。全部で10グループができました。

毎回ファシリテーターや記録係など様々な役割を体験すること、年代や業種、職種、生活環境などが異なるメンバーと課題に取り組むことで、実践を通してチムビルディングを学ぶことを目的としています。限られた時間の中、毎回の講座以外にも自主的に議論や調査、資料作成のために集まり、結論を導いていきました。各グループの発表の概略を紹介します。

アイセル女性カレッジは、1995年にスタートした女性のための人材育成講座です。第14期（2017.7～2018.2）は、「女性」を対象に、女性が苦手意識を持ちがちな交渉やリーダーシップなど、職場で役立つ実践的なプログラムを企画。第一人者を講師に迎えた講義で知識やスキルを習得するだけでなく、毎回30分程度のグループ・プロジェクトに取り組み、最終回でその成果を発表しました。

（文責・事務局）

## 育休取得者のスムーズな復職に向けて / チーム「育ママ」

メンバー3人が育休取得経験者。スムーズに職場に復帰し、活躍するために本人及びパートナーが育休中に行すべきことを調査、検討しました。

経験者の声を集めて復職前にしておくとよいことを5つのステップにまとめた「復職のためのヒント集」を作成した。最終ステップではメンバーオリジナルの「復職面談準備シート」を活用して会社と面談、あわせて会社の制度や法令の確認をするよう提案した。



## 先進事例から考える自社の課題の乗り越え方 / チーム「キャリキャリア」

勤務先の業種、業態が異なる3人は、それぞれが女性が活躍するために必要な解決策や先進事例を調べました。

物流会社で働く一人は、小さな成功体験を積むこと、制約のある女性でも業務責任に積極的になる制度や環境が必要だと提案。都市銀行で働く一人は先進事例と自社の取り組みを比較。自治体で働く一人は女性の不安の解消にメンター制度や外部の研修を活用することが有効だと指摘した。



## 男女問わずの働き方改革実現のために / チーム「ミニーマウス」

職場のリーダーを期待されている3人。女性管理職が全体の半数を占めるようになればより働きやすくなると考え、調査しました。

女性管理職の多い小売業A社を教育と制度の2つの面から検討。男性中心の管理基準を見直すことでモチベーションの向上や能力開発が進むことに着眼した。自分たちにできることは諦めずに思いや意見を発信し続けることが肝心だとまとめた。



## 長時間労働 / チーム「未来をカエル」

自分や同僚、家族の長時間労働を何とかしたい！と考える4人。仕事だけでなく、豊かな人生を送りたいと長時間労働の解消策を模索しました。

静岡県は所定外労働時間が年平均11.9時間とワースト2位。市内2社の対策事例と効果を調べた。業種によっては解消が困難な現状も浮かび上がり、個人でできることを議論し、考え方を転換する2つの方法を提案。最後に全員で長時間労働解消後にやりたいことを宣言した。

## 資源を掘り起こせ～自分らしいキャリアに向けて～ / チーム「ウガンダ」

自分らしいキャリアを形成できる社会を希望する4人。ライフステージに応じて柔軟に働き続けている人に、直面する課題とその乗り越え方について質的調査を行いました。

インタビュー調査を通して課題や乗り越え方は違っても資源には共通点が多いと気づきを得た。自分自身の中や周囲に「資源」を持っている、自分自身が周囲に影響を与える「資源」になりうる、「資源」を掘り起こし課題を乗り越え発展し続けることが、自分らしいキャリアを形成する一歩だと訴えた。



## 子どものキャリア教育 / チーム「ライフキャリアレインボー」

ライフステージに応じた働き方の変更ができるば仕事と家庭の二者択一を迫られなくてすむと考えた3人。現状を探る中で子どものキャリア教育が重要だと結論づけました。

小学校で学ぶ産業が限られており、現実の社会と乖離していること、キャリア教育に関しても科目ごとの連携はないことなど課題を専門家に取材した。子どもたちが将来、時代の変化に対応できるためには、学校だけでなく社会や家庭におけるキャリア教育が重要だと主張した。



## 男性中心型雇用慣行の成り立ちを探る / チーム「トリブルO」

男性が多い職場で働く3人。男性中心型雇用慣行の成り立ちを調べ、解決策を探りました。

戦前から戦後の女性の役割の変遷を調査。敗戦により人口増が優先されたため、性別役割分業が高度経済成長期まで続く。国連の女子差別撤廃条約を批准し、男女雇用機会均等法が成立したが、バブル崩壊後も男性中心の雇用慣行は変わらなかった。女性活躍のために男性中心型の雇用慣行を見直す必要があると説明した。



## 評価と昇進 / チーム「エボプロモーション」

4人は女性管理職が少ないので、評価制度に問題があるので？という仮説を立て、女性活躍の現状と企業の好事例を調査しました。

静岡県は女性管理職の比率が低く、全国平均を大幅に下回っている。女性管理職が少ないので現状の評価制度に様々な課題があるためで、「評価基準を明確化する」「複数の上司による評価で公平性を保つ」「評価基準を公開する」などの制度改革に加え、意識改革や教育が必要だと指摘した。



## 平等社会実現のため、女性リーダーを増やす / チーム「自分に自信が持てる平等社会をつくり隊」

3人は女性リーダーに着目。国の取り組みを調べ、身近な女性リーダーにインタビューしました。

県内企業の現状は、女性管理職登用は少なく、候補者を育成する段階。女性管理職を増やすには、今の男性管理職の意識改革と働き方改革が重要だと聞き取りした。「日常でリーダーになることを意識することで、自分たちの視野とネットワークが広がった。これからも学び続けていきたい」と決意を述べた。



## ハッピーマインドで快適な職場改善を / チーム「キラキラレボリューション」

制度や企業風土はすぐに変えることはできないが、個人のマインドを変えていくことで職場改善を行いたいと考えた2人。海外と日本の残業に対する考え方、どちら方に注目して検討しました。

日本の生産性は先進7カ国で最下位。残業だけでなく、キャリアアップやワークライフバランスに関する海外と日本では考え方には違いがあり、生産性に影響している。まずは自らの意識を変えてみることが大事だと結んだ。

グループ発表後、元常葉大学教授の居城舜子氏による講評がありました。

発表内容を補足して「各種のデータを見ても静岡県は男性の意識、女性の正社員比率が共に低く、全都道府県中最下位層。正社員比率が低ければ女性管理職が少ないと当然である。『女性活躍』は全員の女性が活躍しないと達成できない。管理職が増えない3大要因として知識・経験がない、勤続年数がない、女性の採用が少ないを挙げる人が多いが、コストがないのが最も大きな理由である」と現状を解説。

できること、職域を広げていく。能力を具体的に示していく。『女性活躍』は経営戦略である。自分の活躍は会社に貢献するのだといふ意識で仲間を増やし、会社の風土を変えていく。すぐに実現しなくても「喜一憂せず長期戦でがんばってほしい」とメールを送りました。

また、チーム「育ママ」が考案した「復職面談準備シート」(左図)が、審査員より「提案が実際に活用できる」と評価され、ベストプラクティス賞として表彰されました。

アイセル女性カレッジは、今年度も「戦略的キャリア形成プロジェクト3・多様な視点、対話力を獲得する10日間」と題し、7月から第15期がスタートします。14期生は今後、女性会館が運営するJo-Shizuセンターバンクに登録地域をけん引する女性リーダーとしての活躍が期待されます。



今年度の詳細は女性会館HPから↓



▲「復職面談準備シート」(左)と記入例(右)

## 講座終了レポート

### 1/28～29 女性の相談事業に携わる人のための実践研修

東は宮城、西は岡山から男女共同参画関連施設の相談事業担当者43人が静岡に集結。全国女性会館協議会と共に、2日間にわたる研修会を開催しました。環境はそれぞれ異なりますが、抱える課題は共通。他機関との円滑な連携を探るべく、静岡市内の6つの機関の代表者にも登壇いただき、相談事例を用いてのトーカセッションを行いました。改めて、ジェンダーの視点で問題をとらえ直す女性相談の役割を認識することができました。



### 12/19 デートDV防止講座 @静岡県立清水西高校

女性会館では毎年高校生のための出張講座を行っています。講師は伊田広行さん。10代、20代の若い恋愛でも起こるDV(デートDV)が問題になっています。教員による寸劇を交えて、デートDVに関する正しい知識を得て理解を深めることは、お互いを尊重し合う「対等な人間関係」をつくるきっかけになると呼びかけました。生徒からは「他人事ではないと分かった」「友達が悩んでいたら伝えたい」などの感想がありました。



### 3/7～10 「自分で選ぶ老い支度」と「介護で行き詰まらないための基礎知識」

50～70代の女性を対象にした「自分で選ぶ老い支度」は予想を超える数のお申し込みをいただきました。3人の講師から、健康のことや地域のネットワークについてなど80代の暮らしを豊かにするヒントが紹介されました。

また「介護で行き詰まらないための基礎知識」では、講師が様々な社会的サービスや選択肢、介護予防の事業を紹介。家族やパートナーの介護への不安が解消されたという声が多く寄せられました。



# ひとり親でも 安心して暮らせる社会へ



ひとり親世帯の収入の低さが子どもの教育格差につながり、貧困の連鎖を生む—その鎖を断つために、ひとり親支援が社会的な課題だという認識が広がってきました。家族の形も変化し、静岡市でもひとり親世帯が増えています。市母子寡婦福祉社会職員として相談窓口を担当、個人的にも支援活動に携わる田中志保さんに、静岡市の現状や支援について聞きました。

静岡市母子寡婦福祉会 職員、シングルペアレン特101代表

## 田中志保さんインタビュー

### —ひとり親支援の活動を始めたきっかけは?

2人の子どもを育てているシングルマザーです。私自身、子連れで離婚を決意した直後から「選択」と「決断」の連續でした。本やネットの情報は首都圏の事例が主で、静岡市の実情に合う「道しるべ」はありません。養育費、面会交流の問題など、迷い、悩みながら乗り越えていかなければなりませんでした。この生きづらさを打破したい、他にも困っている人がいるはずだとデータを拾つて調べたのがきっかけです。2014年に支援団体「シングルペアレン特101※」を立ち上げ、経験者26人の聞き取り調査をまとめた冊子を作りました。6月初旬には第2弾を発行します。

### —静岡市のひとり親世帯の現状は?

国勢調査の結果をみると、静岡市のひとり親世帯は全世帯の約10%。実家で暮らすひとり親世帯は含まれないので、実際はもっと多くなるでしょう。ひとり親実態調査によれば86%が就業している、そのうち57%が非正規です。年間所得額は百万円～二百万円未満が約4割。全体

の8割以上が三百万円未満と就労収入が低いことが特徴です。自転車操業の人や借金をしている人も少なくありません。

### —ひとり親が抱える一番の悩みは?

シングルマザーはどうやって収入を上げるか、シングルファーザーは仕事と生活をどう両立させるか、です。女性の場合、もともとの賃金格差に加えて子どもが小さいと長時間労働や残業ができず非正規になりがち。男性も転職や退職を余儀なくされます。根っこは共通で、性別役割分業（男性は仕事、女性は家事・家族のケア）という社会構造から、そして「夫婦で1セット」として設計された社会制度から離れてしまつたときに生じる問題だと考えます。

### —困ったとき、強い味方になってくれるのが母子寡婦福祉ですね。

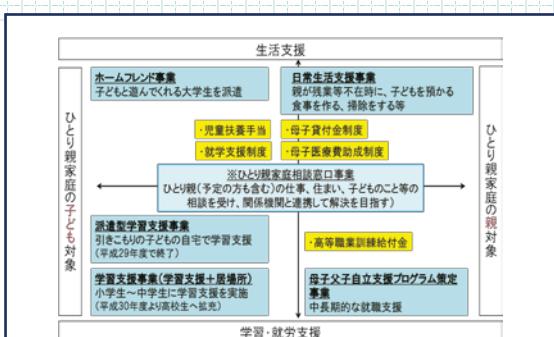
相談員が親身になって対応しワンストップで問題解決に進めるよう努めています。仕事のことは就労支援事業、生活面ではヘルパーを派遣して掃除や料理を担う日常生活支援事業、子どものことでは学習支援事業（下図参照）のほか、住宅支援、生活保護申請など役所内の連携部署や専門の相談窓口につなげられるのが強みです。

### —私たちができる「ひとり親支援」にはどんなものがありますか。

既存の支援事業を知つて当事者に伝えてください。パブリックコメントに声を出すのも一手。私たちの「101」の活動へのサポートもうれしいです。中長期的には、男性の生き方の多様化の推進や管理職になつて性別にとらわれない職場をつくることが「ひとり親でも安心して暮らせる社会づくり」の大きな支えになると思い

## CHECK!

女性会館では9月26日(水)午前10時から、田中さんたちの協力の下、ひとり親家庭で育った若者をゲストに迎えたトークイベントを開催します。詳しくは、女性会館ホームページまたは広報しづおか「静岡気分」9月号をご覧ください。



※シングルペアレン特101 離婚前後のひとり親への情報提供、講座、ひとり親世帯への食料提供（フードバンクふじのくに）と連携などを実施している。

# AICEL TOPICS



## 25年の活動に終止符 笑顔の最終定例会 施設ボランティア 「けやきの会」

アイセル21が開館した当初から、1階インフォメーションでボランティア活動を続けてこられた「けやきの会」。長年、会館の顔として、初めて来館される方はもちろん、利用者の方々をにこやかに出迎え案内してくださっていましたが、平成30年3月をもって活動を卒業しました。

最後の定例会では、女性会館館長から感謝状と記念品として活動記録をまとめたフォトブックを贈呈。メンバーの皆さんから「楽しく社会参加できた」「よい仲間に出会えた」「すばらしい人生のひとこま」「ボランティアは人のためと思っていたが、自分のためでもあった」等、感想をいただきました。25年間、本当にありがとうございました。



地方紙の記者として定年まで勤務した後、4年間館長を務めさせていただきました。女性カレッジに学ぶ若いメンバーとの出会い、地域版ロールモデル事業「Jo-Shizu メンター・バンク」や女性への暴力根絶を願うキャンペーンダンス「Break the Chain」のスタートに立ち会えたことは人生の神様からのプレゼントのようにも思えます。職員の勇気、粘り強さ、温かさに支えられ、また市民の皆様にもご支援いただきました。心より御礼申し上げます。

前館長 川村美智

## 館長交替のごあいさつ

4月から館長を引き継ぎました。女性会館に勤務して、13回目の春を迎えてます。唯一の取り柄は、歴代館長の中で最も現場経験が長いということですが、もともと「思いをカタチにすること」が好きでしたので、この仕事に巡り合えたことは幸いなことと存じます。

静岡市唯一の男女共同参画推進の拠点施設として、性別に関係なく「自分らしく生きること」、多様な価値観に触れた上で「自分の力で選ぶこと」ができるよう様々な事業を展開してまいります。引き続き、女性会館をご活用いただきたくお願い申し上げます。

新館長 谷口年江



## ＼今年もやります／ 2018男女共同参画 おすすめBOOK

6月23日～29日の「男女共同参画週間」に合わせて、静岡市女性会館をはじめとした、県内の男女共同参画関連施設の連絡会が発案した企画展「男女共同参画おすすめ BOOK」が始まって今年で4年目。連絡会がまず男女共同参画に関するおすすめ本を選定し、呼び掛けに応じた県内の公共図書館が、期間中に一斉展示します。昨年の参加施設は31館。それぞれの館の工夫をこらした展示が好評でした。

今年も展示リストに新しい本を120冊追加しています。身近な存在である公共図書館と連携して開催することで、男女共同参画を“自分ごと”として感じていただくきっかけになればと考えています。当館図書コーナーをはじめ、どうぞお近くの図書館でご覧ください。



## 第10回アイセル わいわい祭りが 開催されました！

10年前、女性会館の協力団体（現・男女共同参画団体）から活動発表の場がほしいと始まったイベント。最初の実行委員会には13団体19人が集まり、ゼロからのスタートでした。参加者の発案で名称は「わいわい祭り」に、開催日は建物の愛称「アイセル21」にちなんで平成21年2月21日に決まったことが昨日のことのように思い出されます。

翌年からは同じ建物にある葵生涯学習センターと合同で開催。各団体が歌やダンスをステージで発表したり、作品の展示会や体験会を開催したり、日頃の成果を存分に発揮する機会となっています。

今年2月25日に開かれた記念すべき10回目は、49団体が参加し、来場者数は2,700人を超える盛大な祭りになりました。静岡ゆかりのキャラクターたちも応援に駆けつけ、来場者と一緒に踊る場面もあり、会場は最後まで活気にあふれていました。

# ●●●● これからの講座のご案内 ●●●●

## 大事な人を災害から守るために

駿河区地域総務課と共催で実施する「するが防災女子講座」のキックオフイベントです。これまでの災害の教訓や課題をふまえて、性別・年齢・障がいの有無や国籍等の多様性に配慮した、身近な防災・減災を考えます。

日 時 7月29日(日)13:00~16:00

会 場 静岡市南部図書館  
2階 視聴覚ホール

対 象 どなたでも 100人

講 師 浅野幸子さん  
(減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表)

参加費 無料

申込み 7月3日(火)~17日(火)電話で  
静岡市コールセンターまで  
TEL: 054-200-4894

## 相手の心を動かす対話術

相手の心を動かし「YES！」を引き出す、自分の思いを伝えるために必要な力とは何か、トレーニングを通して仕事に役立つ「伝える」スキルを学びます。仕事女子にピッタリの講座です。

日 時 8月4日(土)13:30~16:00

対 象 働いている女性 20人

講 師 柴田朋子さん(キャリアコンサルタント)

参加費 無料

託 児 要申込み、1歳~未就学児、  
子ども1人につき500円

申込み 7月20日(金)17:00 締め切り  
電話またはHP(多数抽選)

## 後悔しないための離婚の法律知識

「離婚」の2文字が頭をよぎった時、感情にまかせずに、正しい法律知識を学び、長期的な視野に立って主体的に考えられるように、女性弁護士が、離婚に関する法律知識をわかりやすく解説します。

日 時 9月13日(木)10:00~12:00

対 象 18歳未満の子を持つ女性 20人

講 師 山本華子さん(弁護士)

参加費 無料

託 児 要申込み、1歳~未就園児、  
子ども1人につき500円

申込み 8月6日(月)10:00から  
電話またはHP(申込順)

申込み先 ▶▶▶ 静岡市女性会館 ☎ 054-248-7330 HP <https://aicel21.jp>  
問合せ先 ※会場は、記載がない限り、女性会館(アイセル21)になります。

## 小学校入学前から始める カラダと性の話

「必要だと思ってはいてもなかなか話しにくい…」「思春期になってからではもう遅い?」など、親としてどう伝えたらいいのか悩んでしまう性や体の話。実際に思春期の子どもたちから相談を受けている講師から、話をうかがいます。

日 時 10月5日(金)10:15~12:15

対 象 未就学児の母親 20人

講 師 黒瀬久美子さん  
(保健師・上級思春期保健相談士)

参加費 無料

託 児 要申込み、1歳~未就園児、  
子ども1人につき500円

申込み 申込み:9月5日(水)10:00から  
電話またはHP(申込順)

## 私を大切にするココロのトレーニング

「自分が好きになれない」「どうしたら自分に自信が持てるの?」ーそんな女性に向けて、ありのままの自分を大切にし、自分を信頼する力を育て、人との心地よい関係をつくるためのトレーニングを開催。講義とワークから、丁寧に自分のことを考えます。(3回連続講座)

日 時 ①10月10日②10月24日  
③11月7日(いずれも水)  
9:30~12:00

対 象 20~40代の女性 20人

講 師 具 ゆりさん(フェミニストカウンセラー)

参加費 無料

託 児 要申込み、1歳~未就園児、  
子ども1人につき500円

申込み 9月25日(火)17:00 締め切り  
電話またはHP(多数抽選)

## パープルリボン ダンスフェス

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、市民の皆さんと共にダンスで女性への暴力根絶を訴えるキャンペーンイベント「パープルリボンダンスフェス」を開催します。参加団体のダンス発表の後は、みんなで「Break the Chain」を踊ります。ダンスを通して女性への暴力根絶を訴えます。多くの方の来場をお待ちしています。

日 時 11月23日(祝)13:30~16:00

対 象 どなたでも

参加費 無料

申込み 不要 直接会場(1階ホール)へ

## 図書コーナーご案内

図書コーナーは、男女共同参画社会実現のために、情報の力で女性をエンパワーメントすることを目的とした女性問題の専門図書館です。

図書・情報の専門スタッフが、より良い人生をすごしていただくためのお手伝いをします。

女性、男性を問わずに利用ください。

◆場 所 静岡市女性会館 1F

◆利用時間 9:00 ~ 19:00

◆休 館 日

- ・第2、4月曜日
- ・年末年始（12月28日～1月4日）
- ・蔵書点検期間、図書整理日ほか

◆貸出点数

- ・図書、雑誌あわせて5点
- ・CD、カセットあわせて2点まで

◆貸出期間 2週間

◆貸出方法

貸出には図書コーナー専用の利用者登録カードが必要です。  
免許証、保険証など公的機関発行の証明書をお持ちくさればその場で発行します。



## 女性のための総合相談

相談  
無料  
秘密  
厳守

ひとりで悩まないで、まずはお電話を

結婚・離婚、恋愛、夫婦のこと、孤独、暴力・虐待、DV、職場の人間関係、セクハラ、将来への不安、妊娠・出産、子育て、母娘のこと…

女性の相談員があなたの気持ちを尊重し、一緒に解決を目指します。  
電話相談の事前予約は不要です。まずはお電話ください。

女性会館 相談専用ダイヤル **054-248-1234**

受付時間	火	水	木	金	土
10:00 ~ 13:00	○	○		○	○
14:00 ~ 18:00	○	○	14:00 ~ 20:00	○	

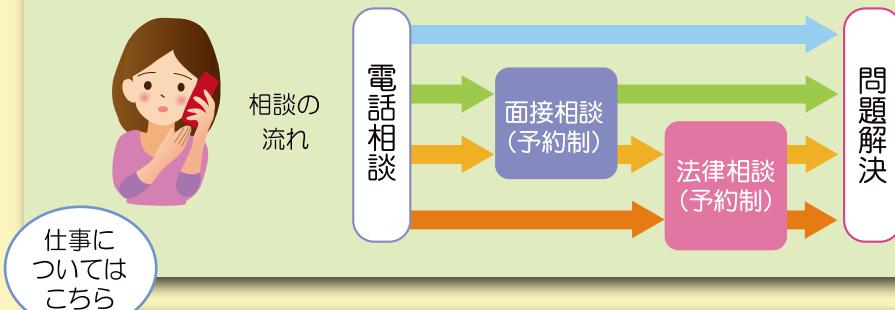
（日・月・祝日、年末年始を除く）

### ●女性相談員による面接相談（予約制/1回50分）●

電話相談のあと、ご希望や必要に応じてご利用いただけます。

### ●女性弁護士による法律相談（予約制/1回30分）●

第1土曜日・第3木曜日 14:00 ~ 17:00



### 40代以下の女性のための 就職・転職・キャリア相談

面接・事前申込予約制 申込受付日時 同月の1日（1月のみ5日）12:30より

相談日 毎月第3木・金・土曜日 ①10:30 ~ 11:20 ②13:30 ~ 14:20 (50分)

まずはお電話でご予約ください。

事前に相談シートをお送りします。女性会館事務室 TEL 054-248-7330

## 静岡市女性会館 アイセル21

所在地 静岡市葵区東草深町3-18

開館時間 9:00 ~ 21:30

休館日 第2・4月曜日  
年末年始(12月28日～1月4日)

T E L 054-248-7330

F A X 054-246-7833

E m a i l mail@aice121.jp

H P <https://aice121.jp/>

### バス

JR 静岡駅北口10番のりば  
県立病院高松線  
「アイセル21」前下車

### 徒歩

JR 静岡駅北口より30分  
静鉄新静岡駅より20分  
日吉町駅より15分



W A V E

発行年月：2018年6月

編集・発行：静岡市女性会館（指定管理者 NPO法人男女共同参画フォーラムしづおか）

